



生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の日本開催に合わせて、北海道に住む人間と動物が、いかに共生していくかを考えるセミナーを開催します。ひとつのテーマについて、北海道立総合研究機構が擁する、専門家2人がわかりやすくお話しします。

10月12日(火)

クマ出没の裏を読み解く  
- 森とクマと人と -



間野 勉

環境科学研究センター  
自然環境部 研究主幹

1960年東京都生まれ 北海道大卒  
全道のヒグマ個体群のモニタリング  
を担当すると共に、保護管理計画  
策定等への科学的助言などを行う

【著書】「エゾヒグマ-その生活を探る」  
(汐文社, 分担執筆), 「日本動物大百  
科」(平凡社, 分担執筆)ほか



今 博計

林業試験場  
森林資源部 研究主任

1971年神奈川県生まれ 千葉大卒  
北海道林務部を経て  
1997年道立林業試験場

10月13日(水)

エゾシカを食べて生物多様性を守る



宇野 裕之(農学博士)

環境科学研究センター  
自然環境部 研究主幹

1961年東京都生まれ 北海道大学卒  
1987年美幌町立美幌博物館学芸員  
1997年北海道環境科学研究センター  
道東地区野生生物室長

【著書】エゾシカの保全と管理, 知床の  
動物, 阿寒の自然1993



明石 信廣(理学博士)

林業試験場  
森林資源部 主査

1969年大阪府生まれ 京都大学卒  
1996年道立林業試験場  
エゾシカによる林業被害や森林へ  
の影響に関する研究活動に従事  
2005年森林保護部鳥獣科長として  
森林獣害全般に関する研究を担当

10月14日(木)

いてほしい魚、いてほしくない魚  
- 淡水魚の勢力図が変わる? -



杉若 圭一

さけます・内水面水産試験場  
内水面資源部 部長

1953年札幌市生まれ 東京水産大卒  
1977年道立水産孵化場  
2000年北海道水産林務部  
企画調整課研究普及室主幹  
2006年道立水産孵化場  
さけます資源部長



川村 洋司

さけます・内水面水産試験場  
さけます資源部 研究職員

1950年東京都生まれ 東京水産大卒  
1974年道立水産孵化場  
ワカサギ、ヒメマスなどの内水面水  
産魚類の資源管理およびイトウの  
生態研究に従事  
1988年同宗谷、えりも、真狩支場長

10月15日(金)

木々がくれる恵み  
- 希少種も外来種もこんな効用がある -



脇田 陽一(農学博士)

林業試験場  
緑化樹センター 主査

1966年愛知県生まれ 東京農工大卒  
1996年石川県農業短期大学附属  
農業資源研究所  
イネやサツマイモ等の分子生物学的  
研究に従事(サツマイモの遺伝子導  
入による低温耐性能力の向上に、世  
界ではじめて成功)  
2000年道立林業試験場



真坂 一彦(農学博士)

林業試験場  
森林環境部 主査

1970年秋田県生まれ 北海道大卒  
1995年道立林業試験場  
海岸林やシラカンバ、ニセアカシア  
に関する研究に従事。  
【著書】「ニセアカシアの生態学」(文  
一総合出版, 共著), 「北海道森林物語」  
(北方林業会, 共著)など。

会場案内

札幌市中央区北3条西6丁目  
北海道庁1F 交流広場



お問い合わせ先

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 広報チーム  
〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西11丁目

電話 011-747-2900  
(平日9:00~17:30 土・日はお休み)  
ファックス 011-747-0211  
メール [hq-entry@hro.or.jp](mailto:hq-entry@hro.or.jp)  
ホームページ <http://www.hro.or.jp>

事前に、上記のいずれかへお申し込みください。

定員になり次第、締め切らせていただきます。